



去る11月21日、市議会議員・職員研修会が本市にて開催されました。三重県地方自治研究センター上席研究員の高沖秀宣氏を講師に『二元代表制における議会改革の在り方（自治体議会の可能性）』について講演がなされ、県内11市の市議会議員・事務局職員合わせて約300名が参加しました。

ぎのわん 第93号

市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 (098) 893-4411 (内337)
印刷 合同会社正美堂印刷所



平成27年3月末に返還が予定されているキャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）の視察を行う市議団（11月19日）

定例会の経過

9月	25日	仮議会運営委員会
	29日	議長等の選挙、議席の指定、議会運営委員の選任、会期の決定、その他
	29日	議会運営委員会（正・副委員長選挙、会期の決定等）
	30日	案件上程、説明
	30日	議会運営委員会
10月	2日	上程案件に対する質疑、委員会付託
	2日	議会運営委員会
	3、6、7日	3常任委員会（総務、経済建設、福祉教育）における正・副委員長選挙及び議案審査
	9、10、14～16日	一般質問（質問者21名）
	14日	基地関係特別委員会（正・副委員長選挙）
	15日	議会運営委員会
	17日	各常任委員会の審査報告及び表決
	17日	議会改革に関する調査特別委員会（正・副委員長選挙）

一般会計補正予算（第3号）

13億9,000万円余を賛成多数で可決

認可保育園施設整備事業、新設学校給食センター建設事業等

9月定例会

会期
9月29日～10月17日

第385回宜野湾市議会定例会は、9月29日から10月17日までの19日間の会期で開かれました。

今定例会は、改選後の初議会であるため、議長、副議長の選挙を初め各常任委員会委員等の選任が行われ、その後、各会計歳入歳出決算の認定や子ども・子育て新制度に関連する条例制定のほか、監査委員の選任など40件にわたる議案等が審議され、21名の議員による一般質問も行われました。

正副議長と各種委員会委員の紹介

いあつち



副議長
うえち やすゆき
上地 安之
絆 (5期)



議長
おおしる まさとし
大城 政利
公明 (8期)

市民の皆様には、日頃から市議会活動へのご理解、ご協力を頂き心から感謝申し上げます。

さて、去る九月七日に執行されました宜野湾市議会議員選挙におきまして、市民の皆様の負託を受け、第二十期市議会議員として二十六人の議員が九月定例会より、議会・議員活動に取り組んでおります。

また、私、大城政利と上地安之の二人が伝統ある宜野湾市議会の議長及び副議長に就任いたしました。

本市におきましては、米軍基地普天間飛行場の危険性除去及び早期返還問題、市街地活性化、市民福祉の向上等の課題が山積しておりますが、不転の決意で臨んでいく所存でございます。

これからも、市民の皆様が安全で安心して暮らせる住みよいまちづくりを目指し、精魂を傾けると共に、公正かつ円滑な議会運営に努め、議会活性化及び議会活動の向上にも積極的に取り組んでまいります。

今後とも、市民の皆様のご指導を心よりお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

平成二十六年十二月吉日

経済建設 常任委員会 (委員数7人)



副委員長
はまもと ちようせい
濱元 朝晴
絆 (2期)



委員長
ご や ひとし
呉屋 等
絆 (3期)

市民経済部、建設部、水道局の所管に関する事項を専門的に審査を行う。



委員
いさ てつお
伊佐 哲雄
結市 (1期)



委員
ちねん ひであき
知念 秀明
共生 (1期)



委員
みやぎ つかさ
宮城 司
絆 (2期)



委員
いさ みつお
伊佐 光雄
絆 (5期)



委員
こめす きよまさ
米須 清正
結市 (2期)

総務 常任委員会 (委員数10人)



副委員長
みやぎ かつ
宮城 克
絆 (2期)



委員長
たいら しんいち
平良 眞一
絆 (4期)

総務部、企画部、基地政策部、消防本部、会計課、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属しない事項を専門的に審査を行う。



委員
とうばる いさお
桃原 功
結市 (6期)



委員
さき ますむ
佐喜真 進
共生 (3期)



委員
ちな やすじ
知名 康司
絆 (2期)



委員
いしかわ けい
石川 慶
絆 (1期)



委員
ちねん よしお
知念 吉男
共産 (6期)



委員
がね こせい
我如古盛英
社市 (5期)



委員
いは かずお
伊波 一男
公明 (5期)



委員
うえち やすゆき
上地 安之
絆 (5期)

会派名略称

絆 : 絆クラブ
結市 : 結・市民ネットワーク
公明 : 公明党
社市 : 社民・市民クラブ
共生 : 共生の会

無会派 (日本共産党)

知念吉男
●は会派長

●共生の会
知念秀明
●佐喜真進、比嘉憲康

●社民・市民クラブ
屋良千枝美、我如古盛英

●結・市民ネットワーク
米須清正、玉城健一郎、伊佐哲雄、宮城勝子、桃原功

●公明党
伊波一男、大城政利、岸本一徳

●絆クラブ
島勝政、上地安之、宮城克、石川慶、宮城司、山城康弘、桃原朗、知名康司、濱元朝晴、呉屋等、平良眞一、伊佐光雄

会派名簿

9月定例会
主な議案の審議経過

一般会計補正予算(第三号)



予算の主な内容は、安心こども基金保育所緊急整備事業補助金及び特別会計繰入金を含む総額十三億九千一萬一千円を増額し、さらに、債務負担行為として新設学校給食センター建設事業等を新たに追加するものである。

委員会審査では、認可保育園施設整備事業一億八千九百萬円の増額理由について質疑がなされ、ことしの四月より安心子ども基金を活用した保育所整備事業の市の負担分を県の待機児童解消支援交付金を充てることが可能となったため、賃貸物件を活用した四園の分園整備により、さらなる待機児童解消を図りたいとの答弁がなされた。

本会議の表決に当たっては、「新設学校給食センター建設事業について、経費の削減策であり、これから市を支える児童生徒のことを重視しているとは思えない。また、調理業務等民間委託事業における債務負担行為の補正については、市民等へ説明不足であり、民営化ありきで財政効果もは

つきり示されていない。」「民間委託や民営化は、行財政改革の名のもとに正職員を削減し、最も行政責任が問われる教育、福祉の後退につながるものである。」との反対討論に対し、「学校給食センター調理業務等の民間委託については、五年間の債務負担行為を設定することにより、単年度では割高な契約額を抑え、給食業務を安定して継続できる。また、安心子ども基金を活用することにより、四園の分園を整備し、百八十名の待機児童解消につながる。」今回の補正予算は、行政行為の基礎基本となる法令、規定に準じた内容である。多角的かつ多種多様化する市民の需要に応えるべく、今後の行財政改革をさらに前へ進めていく上で極めて市民本位の予算である。」との賛成討論がなされ、賛成多数(反対八名)で原案可決された。

第三八四回臨時会の経過

八月十三日に開かれた臨時会は、一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計の三会計の補正予算が提案された。

本三件については、全会一致で原案可決された。

福祉教育
常任委員会
(委員数8人)

福祉推進部、健康推進部、教育委員会の所管に関する事項を専門的に審査を行う。



副委員長
岸本 公明 (4期)



委員長
比嘉 憲康 (4期)



委員
桃原 朗 (2期)



委員
玉城 健一郎 (1期)



委員
山城 康弘 (1期)



委員
島 勝政 (3期)



委員
宮城 勝子 (2期)



委員
屋良 千枝美 (2期)

議会運営委員会

(委員数10人)

議会運営のため意見調整を図る場として設置され、議会の運営、会議規則、委員会条例や議長の諮問事項、会期に関する調整等を行う。

- | | |
|------|----|
| 委員長 | 雄正 |
| 副委員長 | 清一 |
| 委員 | 安真 |
| 委員 | 眞勝 |
| 委員 | 政等 |
| 委員 | 男進 |
| 委員 | 功盛 |
| 委員 | 英 |
| 委員 | 伊米 |
| 委員 | 上平 |
| 委員 | 島屋 |
| 委員 | 伊波 |
| 委員 | 喜真 |
| 委員 | 佐原 |
| 委員 | 桃如 |
| 委員 | 我我 |

基地関係特別委員会

(委員数10人)

米軍基地普天間飛行場や瑞慶覧基地を抱える本市において、基地から派生する諸問題について、議会として特別に対策上必要な調整等を行う。

- | | |
|------|----|
| 委員長 | 朗男 |
| 副委員長 | 晴克 |
| 委員 | 弘慶 |
| 委員 | 康憲 |
| 委員 | 功雄 |
| 委員 | 哲盛 |
| 委員 | 英 |
| 委員 | 伊波 |
| 委員 | 濱元 |
| 委員 | 宮城 |
| 委員 | 山川 |
| 委員 | 石比 |
| 委員 | 嘉原 |
| 委員 | 桃佐 |
| 委員 | 伊我 |
| 委員 | 我我 |

議会改革に関する調査特別委員会

(委員数10人)

議会機能の強化を図るとともに、市民に開かれた議会を目指すこと等を目的として、議会基本条例の策定及び議会改革に向けて必要な事項を調査、検討を行う。

- | | |
|------|----|
| 委員長 | 司子 |
| 副委員長 | 晴司 |
| 委員 | 之慶 |
| 委員 | 徳明 |
| 委員 | 朗郎 |
| 委員 | 美 |
| 委員 | 康勝 |
| 委員 | 朝司 |
| 委員 | 安慶 |
| 委員 | 地川 |
| 委員 | 一本 |
| 委員 | 念秀 |
| 委員 | 健一 |
| 委員 | 城千 |
| 委員 | 良枝 |

倉浜衛生施設組合議会議員

- 宮城 克
- 宮城 司
- 宮城 勝子
- 屋良 千枝美

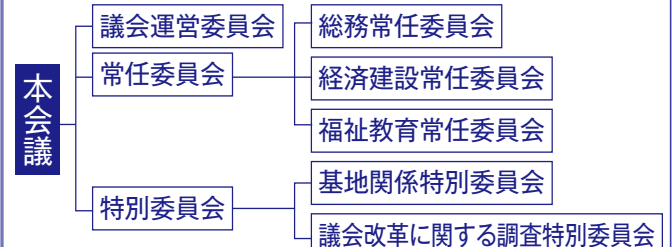
沖縄県後期高齢者医療広域連合議会議員

山城 康弘

議会選出監査委員

島 勝政

市議会の構成



一般質問

今定例会は、21名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

答弁者

- 市長 佐喜真 淳
- 副市長 松川 正則
- 教育長 玉城 勝秀
- 水道事業管理者 外間 伸儀
- 総務部長 知名 朝祐
- 企画部長 和田 敬悟
- 基地政策部長 伊佐 徳光
- 福祉推進部長 國吉 秀子
- 健康推進部長 喜舎場 宏
- 市民経済部長 米須 清盛
- 建設部長 黒澤 伸行
- 教育部長 宮城 光徳
- 指導部長 石川 正信
- 消防長 浜川 秀雄
- 選管委員長 喜瀬 昭夫

公共火葬場の建設について



佐喜真 進 議員

○議員 今年度の事業の進捗状況についてお聞きしたい。

○企画部長 詳細検討調査業務や、候補地として絞り込んだ中城村安里地区の地権者、

住民説明会を開催している。

○議員 候補地の選定は民間地から二百メートル以上離れた場所を条件としているが、

二百メートル以内になぜ安里地区が入っているのか。

○企画部長 墓地、埋葬等に関する法律施行細則の中のだし書きに基づく緩和規定により設置が可能となっている。

○議員 当該施設が丸見えという声もあつたと聞かすが、どの地域から見えるのか。

○企画部長 特に安里地区の方から声が上がっており、緑地帯を設けるなど施設が見えないような整備を考えている。

○議員 火葬場建設に係る予算の確保について伺いたい。

○市長 国や県の財政支援を求め、五市町村で連携して取り組んでまいりたい。

○議員 予算の確保に向け、ぜひ頑張ってください。

宜野湾トロピカルビーチ賑わい創出事業について



桃原 朗 議員

○議員 九月二十七日から二日間にわたり、「トロバ二〇一四」が開催されたが、事業目的、実施期間及び実施方法はどのようになっているか。

○市民経済部長 本事業は、一括交付金を活用し、市民から提案された内容を事業化したものであり、ミュージックイベント等を開催することにより、市民の憩いの場や観光客のにぎわいを創出すること

を目的としている。実施期間は、平成二十八年度までの三年間を予定しており、公募型プロポーザル方式で委託先を選定し、事業を実施している。

○議員 本事業の経済効果についても伺いたい。

○市民経済部長 ビーチ利用者者とイベント参加者の識別は困難だが、ビーチ利用者を含めた来場者が二日間で四千七百名となっている。今後、実績報告等を分析し、どのような経済効果があつたのか判断したい。

○議員 次回も大きなイベントになるよう期待している。



一括交付金を活用した市民提案型事業として開催された『トロバ2014』

キャンプ瑞慶覧の返還跡地利用計画について



吳屋 等 議員

○議員 こししの八月の文化財試掘調査中にドラム缶が発見されているが、自身の調査報告について伺いたい。

○教育部長 現在、沖縄防衛局が専門業者へ分析を依頼しており、早ければ十一月下旬に報告を受ける予定である。

○議員 今後の文化財調査の内容や支障除去等のスケジュールについてお聞きしたい。

○教育部長 返還前は試掘調査

査、表面踏査、返還後はそれに加えて、確認調査、緊急発掘調査等を予定している。

○基地政策部長 支障除去措置については、返還実施計画に基づき、物件撤去、土壌汚染調査、水質汚濁調査、不発弾探査、産業廃棄物探査等が行われ、期間は二年ないし三年程度が必要と思われる。

○議員 支障除去の間、市民・県民への周知も含め、フェンス沿いに跡地利用がイメージできるような看板を設置できないか。

○基地政策部長 早速、沖縄防衛局へ要望してまいりたい。

英宜野湾市育英会事業の運用改善について



比嘉憲康 議員

○議員 六月定例会でも質問しているが、その後、どのようにに検討したのか伺いたい。

○教育部長 制度改革案として「奨学金の申し込み時期を一年一回から各入試に合わせて年三回にする」「他の奨学金との併用ができるようにする」「入学準備金を創設し、三十万円、四十万円、五十万円の中から貸与額を選択できるようにする」「従来の奨学

金の県内在学三十万円、県外在学五十万円を、県内・県外を問わず、三十万円、四十万円、五十万円の中から貸与額を選択できるようにする」「貸与回数について、従来の毎月貸与に加え、年二回貸与との選択制にする」制度改革を考えている。来月十一月の理事会及び総会で、定款改正の承認をいただき、速やかに取り組んでまいりたい。

○議員 非常に画期的であり、各市町村のモデル事業になると考えている。ぜひ、いい運用改善になるよう取り組んでいただきたい。

人材交流センター めぶき前道路の 整備計画について



我如古盛英 議員

◎議員 当該道路の整備の必要性と現道路の危険性について伺いたい。

◎建設部長 当該道路は公共施設へのアクセス道路でもあるため、交通量が増加していることや、一部狭隘な箇所について車両のすれ違いが困難なことから整備の必要性があると認識している。

◎議員 当該道路整備の概略設計について、進捗状況を伺

性別で分けない 名簿(男女混合 名簿)について



屋良千枝美 議員

◎議員 去る九月の宜野湾小学校の運動会で、初めての取り組みとして男女混合列による入場行進が行われているが、その評価について伺いたい。

◎教育長 昨年までにはない大きな動きと考えている。性別で分けない、一人一人が個人として尊重される社会の構築は非常に大切であり、その考えを教育の場で育んでいくことの重要性を認識している。

◎建設部長 本市の財政状況も厳しいことから、平成二十六年の概略設計については予算化できなかったため、平成二十七年に向けて再度予算要求をしていきたい。

◎議員 当該道路は抜本的な改善が必要であるにもかかわらず、財政的な面から事業の優先順位があるため、なかなか進まず未整備の状態となっている。また、案内表示板も設置され、以前より探しやすくなっているが、公共施設へのアクセス道路として、早目に整備をしてほしい。

◎議員 本市の男女混合名簿の取り組みが進まない理由についてお聞きしたい。

◎指導部長 提出書類の多くが男女別であるなど、事務効率面による理由が挙げられる。

◎議員 西原町は全ての小中学校で性別で分けない男女混合名簿を導入しているが、本市はどのように考えているか。

◎指導部長 学校長を中心に教職員間で議論し、学校現場において総合的、主体的に判断されることを考えている。

市民会館の管理 運営のあり方について



知名康司 議員

◎議員 以前は休館日でも正面からの出入りが可能であったが、現在は裏口のみ出入りとなっている。その理由についてお聞きしたい。

◎教育部長 休館日において不審者の侵入や、子供たちが館内で走り回りけがをすることといったことが発生したため、保安上の問題から平成二十六年四月一日より休館日は正面玄関を閉めている状況である。

◎議員 裏口に回る際には階段があり、車椅子では上がることができない。管理体制はしっかりしながら、正面玄関の四力所ある扉を一力所でも

住居表示板の 補修について



宮城勝子 議員

◎議員 住居表示は、昭和五十九年十一月に新城から実施しているとのことだが、これまでに住居表示板の破損状況を調査したことはあるのか。また、修復状況についても伺いたい。

◎市民経済部長 市内全域の破損状況の現況調査は、平成十四年度に一斉に市内全域の住居表示実施済み区域において行っており、その後は必要

◎議員 裏口に回る際には階段があり、車椅子では上がることができない。管理体制はしっかりしながら、正面玄関の四力所ある扉を一力所でもあけることはできないか。

◎教育部長 休館日は市民会館を管理する職員も休みとなるため、当該職員が出勤する日に合わせて開放する方法が望ましいと考えている。また、バリアフリー化についても、早急に対応ができないか検討してまいりたい。

◎議員 玄関へインターフォンを設置するなど、ぜひ前向きに検討していただきたい。

◎市民経済部長 市の方で予算を計上しており、修復等を行っている。

◎議員 住居表示板の破損、修復等の費用は、どちらの負担なのか。

◎市民経済部長 広報の仕方については、担当課で検討し、対応していきたい。

普天間飛行場の 辺野古移設について



桃原 功 議員

◎議員 市長の辺野古移設に対する政治姿勢を伺いたい。

◎市長 一刻も早く普天間飛行場を返還してもらいたいという姿勢は変わっていない。

◎議員 辺野古埋め立てに対し、賛成か、それとも反対か。賛成か、それとも反対か。賛成か、それとも反対か。

除することはあつてはならないと思つている。

◎議員 先日の市議選で、辺野古移設に関しての出口調査があり、名護市では七八%、宜野湾市では六八%の方が反対という結果が出ている。県民世論は、市長が言う普天間の固定化があつてはいけないということだけではなく、これ以上沖縄に基地の固定化があつてはならないということを示している。また、市長も賛同した建白書のとおり、日米両政府に同調するのではなく、市長みずから国内外に對し、抗議をすべきだと考える。

長田地区コミュニティ 供用施設建設事業に ついて



米須清正 議員

◎議員 当該事業は、長田地区コミュニティ施設と児童館を合築する市内で初めての事業であり、自治会からは環境整備について要請が出ている。長田区は人口も一番多く、児童生徒数も多い状況にあり、計画されている児童館が狭隘であるため、児童館の事業運営に支障を来さないか懸念している。当局としてどのような

◎福祉推進部長 騒音、振動対策については、現在、実施設計の段階であり、設計業者及び自治会とも調整を図ってまいりたい。また、敷地面積は、児童館も含め千三百八平方メートルで決定しているが、各種事業の運営に当たっては、十分に自治会とも調整をしながら事業を進めてまいりたい。

◎議員 平成二十七年には事業認定の申請、用地交渉、そして本工事と建設に向けて本格的に進むわけだが、長田区建設委員会との協議をしっかり行い、納得のいくように進めてもらいたい。

市道我如古24号の整備の進捗状況について



○議員 国道三三〇号に係る拡張工事の完了時期に合わせて通学路の整備も完了する見込みなのか、お伺いしたい。

○議員 我如古交差点に係る国道三三〇号の拡張に伴い、市道我如古二十四号への交通量が多くなるが、当該市道は志真志小学校への通学路にもなっており、子供たちへの安全対策はどのようにお考えか。

○建設部長 当該市道に係る用地買収等も控えており、子供たちの通学に支障を来さないようスピードアップし、また事故が起きてからでは遅いので国道三三〇号に係る拡幅工事の完了時期に合わせて整備を

○議員 我如古交差点に係る国道三三〇号の拡張に伴い、市道我如古二十四号への交通量が多くなるが、当該市道は志真志小学校への通学路にもなっており、子供たちへの安全対策はどのようにお考えか。

○議員 当該市道に係る用地買収等も控えており、子供たちの通学に支障を来さないようスピードアップし、また事故が起きてからでは遅いので国道三三〇号に係る拡幅工事の完了時期に合わせて整備を

住宅防音工事のエリア拡大・拡充について



○議員 八十W区域で告示以降に建築された住宅が防音工事の対象となっている市町村はあるのか、お伺いしたい。

○議員 嘉手納町は八十五W区域において告示の見直しをされており、本市も同様に告示の見直し等について要請を

○基地政策部長 現在、当区域で告示以降に建築された建物が住宅防音工事の対象となっている市町村はない。

○市長 担当部局と協議を行い、要請してまいりたい。

○議員 告示後の建物について、「危険への接近」という理論は通らず、当然防音工事の対象となるべきだと考える

○議員 国への要請についても一歩踏み込み、来年には告示見直しの発表ができるよう鋭意取り組んでいただきたい。

子どもの読書推進計画及び読書活動について



○議員 読み聞かせボランティアの活動状況や効果等についてお伺いしたい。

○議員 読み聞かせボランティアの活動状況や効果等についてお伺いしたい。

○議員 子育て支援ボックス

○議員 当該事業の趣旨を理解し、不参加の家庭への対策等をぜひ講じていただきたい。

行政運営と民営化等について



○議員 行財政改革の目的についてお伺いしたい。

○議員 福寿園を民営化することにより、一般財源の負担がふえるのであれば本末転倒である。そこで、行財政改革の面から、一般財源の負担増及び職員数が増となることについて市長の見解を伺いたい。

○議員 福寿園の民営化に伴い、福寿園に配置していた職員分の人件費が一般財源を圧迫することについてどのようにお考えか、お伺いしたい。

○議員 職員を再配置にする案が出た場合、その可否についてお伺いしたい。

キャンプ瑞慶覧の返還跡地利用計画について



○議員 返還面積五十一ヘクタールのうち民間が自由に使えるのは十ヘクタールしかなく、素案には市民に対する配慮がないと思うが、いかがか。

○議員 安仁屋地域の方々と話をして跡地利用計画を進めていただきたいが、いかがか。

○企画部長 地権者へのアンケート調査の結果である面積約十ヘクタールを確保した上で当該計画案を策定した。

○基地政策部長 当該計画には地権者の合意が必要であり、十分に協議をして、調整を行ってまいりたい。

○議員 国際医療拠点ゾーンの中に安仁屋地域があり、今後、当地域から住宅建設に係

○議員 どうか安仁屋地域の方々の心を酌み取った跡地利用計画を進めていただきたい。



乳児一般健診後に行われるブックスタート事業(保健相談センター)

遊休地を活用した
高齢者農園事業
について



的とした楽農クラブを実施している。参加者は次第にコミニケーション能力が向上し、笑顔も見えるなど一定の効果が見られており、遊休地を活用した農園事業については、関係部署と相談しながら検討してまいりたい。

●議員 市内高齢者のために、遊休地を市が借り上げ、高齢者農園として整備し、元気な高齢者に無償で貸し出すことで健康増進、生きがい活動の拠点づくりになると考える。そこで、遊休地を活用した高齢者農園事業の取り組みについて伺いたい。

●健康推進部長 前年度から農園での農作業を通して、高齢者の認知機能低下予防を目

まえて対応してまいりたい。

●総務部長 関係法令等により、担当課からの要請等を踏まえて対応してまいりたい。

市立野球場障害者
専用スロープ等の
整備について



ンドの通路が地上から六メートル以上あり、相当な長さのスロープが必要になってしまふことから難しいと考えている。メインスタンドでの観覧

はできないが、車椅子利用者のために、一階のバックネット裏に専用の観覧席を設けている。なお、身障者専用の駐車場がないため、身障者の方がお見えになる場合は、駐車場まで誘導し、入り口付近で乗降していただいている。

●議員 野球場の貸し出し時に、車椅子利用者のための観覧席を設けていることを、ぜひとも案内していただきたい。

●建設部長 野球場のメインスタンドについては、階段でしか入場することはできないため、車椅子での観覧はできない状況である。また、スロープ等の整備は、メインスタ

ンドの通路が地上から六メートル以上あり、相当な長さのスロープが必要になってしまふことから難しいと考えている。メインスタンドでの観覧

西海岸地域への
期日前投票所の
設置について



●議員 ささまざまな懸念事項はあるが、期日前投票所の増設について、本市はどのように考えているのか。

●議員 去る宜野湾市議会議員選挙における期日前投票率について、真志喜区が一番低いというデータが出ている。そこで沖縄県選挙管理委員会から期日前投票所の増設に係る通知があったようだが、当該投票所を増設した際の懸念事項について伺いたい。

●選挙管理委員長 投票の秘密や選挙の公正の確保等、さまざまなことが懸念される。

●議員 選挙の平等、公平を確保できるように、西海岸地域への期日前投票所の設置をぜひお願いしたい。

●議員 選挙の平等、公平を確保できるように、西海岸地域への期日前投票所の設置をぜひお願いしたい。

(仮称)伊利原老人
福祉センターの
駐車場整備について



小堀川(通称オーグムヤ)にボックスカルバートを設置し、駐車場として利用できないか、伺いたい。

●議員 平成二十八年供用開始予定とのことだが、駐車場の整備、確保状況を伺いたい。

●健康推進部長 建物一階ピロティ部分に身体障害者用一台を含む計五台分を設け、勤労青少年ホームの駐車場の一部を整備し、約十台から十五台の確保を検討している。

●議員 徒歩やバスを利用して行くにも不便な場所に施設があるため、建設場所横の青

小堀川(通称オーグムヤ)にボックスカルバートを設置し、駐車場として利用できないか、伺いたい。

普天間中学校の
テニスコートの
整備について



普天間第二給食センターの機能移転後、速やかに整備を行う予定で、計画工程について変更はありません。

●議員 平成二十五年六月議会で普天間中学校テニスコートの擁壁改修工事について質問をしたが、普天間第二給食センター移転後に施工するという計画工程に変更があったのか伺いたい。

●議員 普天間第二給食センターの機能移転後に給食センター敷地を利用した施工方法が最良な方法としており、

●議員 普天間第二給食センターの機能移転後に給食センター敷地を利用した施工方法が最良な方法としており、

●議員 普天間第二給食センターの機能移転後に給食センター敷地を利用した施工方法が最良な方法としており、

平和学習派遣
事業と慰霊の日
事業について



等関係機関へ送付している。

●議員 平和学習派遣事業と慰霊の日事業の目的について伺いたい。

●企画部長 二つの事業の目的は、戦争を知らない世代が沖縄戦や被爆地の長崎市を訪問し、命のつととさや平和の大切さを学び、これからの平和な社会を築く人材育成が目的である。また、毎年研修報告会を開催し、学習内容を報告後、冊子にまとめ各中学校

●市長 戦後六十九年が経過し、さきの大戦の風化が危惧されていることから、平和の大切さをしっかりと市民へ伝えることが必要である。今後、事業の周知、企画内容について見直すべき点は見直し、より効果的に平和のつととさを学べる場とし、事業を進めていきたい。

●議員 素晴らしい取り組みであるが、報告会への子供たちの参加が少ないと思う。戦争を起ささないためにも二つの事業をどうすべきか、市長の見解を伺いたい。

第385回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果
議案第47号	平成26年度宜野湾市一般会計補正予算(第3号)	原案可決(賛成多数)
議案第48号	平成26年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第49号	平成26年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第50号	平成26年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第51号	平成26年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第52号	平成26年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第53号	平成26年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第54号	平成26年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第55号	宜野湾市企業立地促進条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第56号	宜野湾市母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第57号	宜野湾市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第58号	宜野湾市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第59号	宜野湾市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第60号	小型動力ポンプ付水槽車(I型)購入に係る物品の取得について	同意(全会一致)
議案第61号	沖縄県都市交通災害共済組合の解散について	原案可決(全会一致)
議案第62号	平成25年度宜野湾市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定(全会一致)
議案第63号	監査委員の選任について	同意(全会一致)
認定第1号	平成25年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
認定第2号	平成25年度宜野湾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
認定第3号	平成25年度宜野湾市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第4号	平成25年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第5号	平成25年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第6号	平成25年度宜野湾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
認定第7号	平成25年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第8号	平成25年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
報告第12号	平成25年度宜野湾市の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報 告
報告第13号	平成25年度宜野湾市土地開発公社事業報告及び決算報告について	報 告
報告第14号	平成25年度宜野湾市育英会の業務報告について	報 告
報告第15号	平成26年度(平成25年度対象)宜野湾市教育委員会点検・評価報告について	報 告
報告第16号	交通事故による和解等に関する専決処分の報告について	報 告
陳情第1号	地元産品奨励及び地元(市内)企業優先使用に係る要請	採択(全会一致)
陳情第2号	県産品の優先使用について	採択(全会一致)
陳情第3号	軽度外傷性脳損傷の周知及び労災認定基準の改正などを求める陳情	閉会中の継続審査
陳情第4号	平成27年度幼稚園就園奨励費補助金に関する陳情	閉会中の継続審査
陳情第5号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情	閉会中の継続審査
陳情第6号	幼稚園教育の制度改善について	閉会中の継続審査
陳情第7号	「幼稚園・就学前教育」義務教育化・無償化の早期実現を求める陳情	閉会中の継続審査
陳情第8号	「義務教育費国庫負担」堅持及び2分の1復元を求める陳情	閉会中の継続審査
陳情第9号	生涯現役社会の実現に取り組むシルバー人材センターへの支援について	採択(全会一致)
陳情第10号	期日前投票所を大規模集客施設へ設置することについて	閉会中の継続審査
	閉会中の継続審査申し出について 認定第1号 平成25年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について 陳情第10号 期日前投票所を大規模集客施設へ設置することについて	承認 (総務常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 認定第2号 平成25年度宜野湾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 認定第6号 平成25年度宜野湾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 認定第8号 平成25年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 陳情第3号 軽度外傷性脳損傷の周知及び労災認定基準の改正などを求める陳情 陳情第4号 平成27年度幼稚園就園奨励費補助金に関する陳情 陳情第5号 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情 陳情第6号 幼稚園教育の制度改善について 陳情第7号 「幼稚園・就学前教育」義務教育化・無償化の早期実現を求める陳情 陳情第8号 「義務教育費国庫負担」堅持及び2分の1復元を求める陳情	承認 (福祉教育常任委員会)

第384回宜野湾市議会臨時会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果
議案第44号	平成26年度宜野湾市一般会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第45号	平成26年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第46号	平成26年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)